

●一斉学習 ■児童生徒発表型

実践タイトル 1食分の献立について考えよう

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・拡大提示した画像に書き込みながら学級全体で話し合うことで、1食分の献立についての気付きや考えを出し合い、深めるようにする。

静止画

・お弁当や食卓の様子を拡大提示して、身近な材料を取り上げながら、家族の健康を考えた栄養のバランスのよい献立作りを考えるようにする。

参考にしてほしいポイント

- ・本時の導入で、「お弁当の日」に自分が作ったお弁当について振り返ることにより、お弁当に込めた工夫や思いを発表し、家族と楽しい食事をしようとする意欲を高める。
- ・児童が家族のために考えた献立を電子黒板で共有し、お互いの気付きを書き込みながら栄養のバランスのよい献立について考えを深めるようにする。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	・代表児童(2名)のお弁当を電子黒板に提示し、お弁当を作った際の工夫や思いをタッチペンでチェックしながら発表する。 ・本時のめあてを確認する。	・「お弁当の日」の写真(児童が作ったお弁当の写真(写真1))
展開 10 35	・食卓の様子を見ながら、家族との食事を振り返り、気付いたことや家族への思いについて話し合う。 ・栄養教諭から、栄養のバランスのよい食事や食品の組み合わせについて話を聞く。 ・栄養教諭の話を参考に、家族のための1食分の献立を考え、ワークシートに記入する。 ・ワークシートを電子黒板に提示し、意見を出し合い、献立を見直す。	・食卓の様子の写真 教科書の写真を実物投影機で拡大して提示する。 ・食品分類表を拡大して提示する(写真2・3)。 ・児童が記入したワークシート
まとめ 35 45	・学校給食や地域の飲食店に関わる人の話を聞き、相手のことを考えた食事について話し合う。 ・学習の感想を書き、学習をまとめる。	・給食や飲食店に関わる人々へのインタビュー映像



写真1: 児童が自分で作った弁当の画像を拡大提示して、作ったときの工夫や思いを発表



写真2: 栄養教諭が食品分類表を拡大提示して、栄養のバランスのよい食事や食品の組み合わせを説明



写真3: 栄養的なバランスを考えて、1食分の食事で工夫する点を学級全体で発表し合う

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・電子黒板で拡大提示した図や写真に書き込みながら説明や確認を行うことにより、児童の興味・関心を高めることができた。
- ・児童が記入したワークシートをその場で拡大提示しながら、学級全体で意見を出し合って検討することにより、自分自身の考えと比較して、互いの考えの良さに気付かせることができた。

活用効果

評価の観点	・生活を創意工夫する能力	具体的変容	・今までは、献立を自分の好みだけで考える児童が多かったが、電子黒板で情報を共有しながら視覚的に確認し合うことにより、さまざまな視点から考えたり、学習したことを生かして、献立を工夫しようとする児童が見られた。
-------	--------------	-------	---

実践の手応え

- ・児童同士が電子黒板上で画像に書き込みながら意見を出し合うことで、栄養のバランスを考えた1食分の献立について考えを深めることができた。